

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和3年2月1日

事業所名: 児童・放課後デイサービスあかね宇原

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指定基準は満たし、スペース確保はできている。活動内容ごとにスペースを分けて構造化している。	はい:39 どちらともいえない:4 わからない:2	今後も継続していく。
	2 職員の適切な配置	適切な人員を配置している。	はい:38 どちらともいえない:3 わからない:2	今後も適切な人員の配置に努める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚支援の情報を増やす、導線の確保など、特性に応じた環境づくりをおこなっている。昨年同様、重症心身障がいのある子どもたちへの環境設備に不十分な部分もある。	はい:41 どちらともいえない:1 わからない:3	今後も質の向上に努める。重症心身障がいのある子どもにも安心・安全に過ごせるよう環境整備に努める。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃・消毒、安全点検、季節ごとの環境構成。	はい:41 どちらともいえない:3 わからない:1	今後も継続していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎朝のミーティング時に前日の振り返り・情報共有を実施。必要に応じて、改善点を話し合い、実施。業務分担の見直し。会社全体での教育リーダー導入。	はい:38 どちらともいえない:3 わからない:4	今後も継続して実施していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない。		実施を検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	自立支援協議会が開催する研修会、県内研修等に参加。社内での年間研修計画立案し、実施。(1回/月)		引き続き職員全体で取り組む。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	見学・契約時にアセスメントを実施。職員間で検討後、保護者のニーズや課題を整理し計画書を作成。	はい:43 わからない:2	今後も継続して実施していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別ファイルを活用し、個々の特性を把握しながら個別と集団活動を組み合わせさせた計画を作成している。	はい:41 わからない:4 ・苦手なことを克服できるように訓練等に取り入れて目標を持って無理なく計画を立ててくれている。	今後も継続して実施していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々のニーズに応じた内容・目標設定し、作成している。	はい:41 どちらともいえない:1 わからない:3	保護者への説明を周知・徹底していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	作成した計画に基づいて実施している。	はい:41 どちらともいえない:1 わからない:3	今後も職員全員で取り組んでいく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	日案、月案、季節ごとの活動プログラムを立案。		今後も職員全員で取り組んでいく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	放課後の利用ではできない活動を、長期休暇時におこなっている。		新しいプログラムを取り入れ、質の向上を図る。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもたちの特性や発達に応じて設定している。季節の行事を取り入れた活動の提案。	はい:38 どちらともいえない:3 わからない:4 ・本人が楽しめるよう好きな活動を色々させてもらっている。 ・実際の場面で使えるような取り組みをしてほしい。 ・訓練内容を詳しく知りたい。	今後も個々のニーズや目標に応じた活動プログラムを職員全体で共有しながら実施していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎朝のミーティング内で支援内容・役割分担等確認を徹底。 長期休暇時は前日夕方に実施。		今後も継続して実施していく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に経過記録の記載。 翌朝ミーティング時に振り返り、情報共有。 急ぎの案件についてはその日に申し送りをしている。		今後も継続して実施していく。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援終了後に経過記録の記載。 翌朝ミーティング時に振り返り、情報共有。 急ぎの案件についてはその日に申し送りをしている。		今後も継続して実施していく。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的により日々の記録からモニタリングを実施し、個別支援計画の見直しを行っているが、短時間での整理に余裕がないこともある。		時間に余裕をもってモニタリングを実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者が主に対応し、必要に応じて職員も同行。		今後も同様に対応していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	保護者・相談支援専門員を介して情報共有、提供を受け、連携をとっている。 学校からの受け入れの際は、下校時には必ず担任より健康状態を確認。		専門職の助言をもらいながら勉強会を重ね、日々の介助に努めています。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在は医療機関と直接は連携実施はしていないが、保護者・相談支援専門員を介して必要に応じて連携をとっている。		今後も整備に努める。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて支援会議等への参加や文書での情報提供を行っている。 療育現場の見学相談等も積極的に受け入れている。		今後も継続して実施していく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	必要に応じて支援会議等への参加や文書での情報提供を行っている。		今後も継続して実施していく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今年度はコロナ禍で研修の機会があまりなかったため参加はできていないが、今後は受講していく予定。		研修があれば積極的に参加していく。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今年度はコロナ禍で交流の機会が作れなかった。	はい:7 どちらともいえない:6 いいえ:5 わからない:25 無回答:3 ・コロナのため仕方ない ・家庭や学校以外で上下関係を学ぶ機会や場面があればあると思う。	今後も状況(コロナ)を見ながら検討し、機会を設ける。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	プライバシー保護の観点から、現在は実施できていない。	意見なし	今後検討していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時、支援の内容や負担の部分について説明している。保護者からの問い合わせには返答し、周知事項があれば書面を作成し配布している。	はい:44 どちらともいえない:1	継続して行う。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	初回利用時、計画更新毎に説明をおこなっている。	はい:44 どちらともいえない:1	継続して行い、さらにわかりやすく、丁寧な説明に取り組む。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	日常生活の中で連絡帳・メールを通して、相談・助言している。	はい:26 どちらともいえない:3 いいえ:2 わからない:13 無回答:1	事業者内で行えない内容等は関係機関につないでいく等もおこなう。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	集団療育では、連絡帳、送迎時、電話で随時情報共有をしている。必要に応じて面談を設けている。 個別療育では、利用時に機能訓練士と面談している。	はい:40 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:1 無回答:1 ・放課後の様子や状況をファイルに書いたり、送迎時に伝えてくれる。	今後もコミュニケーションを図りながら実施していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者から悩み等の相談があった場合は、機会を設け職員間で話し合いの場を持ち、適切に対応、助言できるように取り組んでいる。	はい:41 どちらともいえない:1 いいえ:3 わからない:1 無回答:1 ・あまりないと思う。	今後も継続して実施していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・保護者会は未開催。 ・地域の交流会もコロナ禍のため未開催で案内できていない。	はい:7 どちらともいえない:10 いいえ:10 わからない:17 無回答:1 ・コロナ禍のため致し方ないと思う。 ・保護者会等には子供が小さいころから行くのに大きな勇気がある。また面倒に感じて行こうと思わなくなった。	今後、ニーズに応じて出来る範囲で検討していく。 継続して既存の保護者会の案内があればお知らせしていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情担当窓口等の説明をしている。 苦情対応マニュアルを作成している。 事業所内職員で共有している。 必要に応じて対応、回答している。	はい:22 どちらともいえない:2 いいえ:0 わからない:19 無回答:2 ・苦情等を伝えたことがなく、そういったものがあるかどうか分からない。	今後も継続して努めていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々に応じた配慮をおこなっている。	はい:4 どちらともいえない:1 いいえ:0 わからない:3 無回答:1	継続して行き、現状に満足せず質の向上に努める。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	連絡帳等を通じ行事予定、活動概要を発信している。	はい:9 どちらともいえない:4 いいえ:6 わからない:25 無回答:1	集団療育、個別療育それぞれに応じた内容を検討し、発信していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	外部への情報開示は、契約時にも説明しているが都度、本人・保護者の確認、同意を得てから行っている。 個人ファイルは鍵付きロッカーに保管している。	はい:37 どちらともいえない:3 いいえ:0 わからない:4 無回答:1 ・書類によって障害児名となっている所を利用者名または児童名にしてほしい	今後も引き続き慎重におこなう。 書類の件については出来る範囲で対応していく。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	新たなマニュアルを作成中。 保護者までは共有できていない。	はい:25 どちらともいえない:5 いいえ:1 わからない:13 無回答:1	今年度中に周知徹底していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回火災避難訓練を実施している。	はい:10 どちらともいえない:6 いいえ:1 わからない:27 無回答:1	地震、大雨等の訓練は今後検討していく。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	今年は外部の研修には参加できていないが、事業所内で実施している。 日々のミーティングで職員間の意識確認や対応の検討を行っている。		研修のみならず、職員が悩み等を話せる場を定期的に確保していく。 今後も職員間で意識を高め、虐待防止に努める。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在対象者はいないが、必要に応じておこなうことにしている。		対象児童の利用があれば必要に応じて記載していく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在は医師からの指示書はない。 保護者からの意向・情報の基、対応している。		必要に応じて医師からの指示書に基づき、引き続き保護者との情報共有を行い適切な対応に努める。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例以外でも職員間での共有を徹底している。報告・記録して改善に努めている。 社内研修、事例検討会で共有している。		今後も継続しておこない、徹底に努める。